

佐賀中学校

『人間を大事に』

『自他ともに』

大切にすることができよう

校長 広井 紳一

◆はじめに

本校は『人間を大事に』を教育目標とし、人権・『同和』教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にした日々の生活や授業や部活動、さらに生徒会活動・学校行事に、全校挙げて取り組んでいます。

また、今年度は「特別支援教育」を柱に据えた学校づくり指定事業を受け、校内研究テーマを『自ら学ぶ力』を育てる指導方法の研究「ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり」として、「基礎学力の定着と充実」および「仲間づくり」を推進するために、



「1年歓迎遠足」
みんなで仲良く

学力向上プロジェクト・仲間づくりプロジェクトの2部会を中心に校内研修を充実させるよう取り組んでいます。



「授業風景」
ユニバーサルデザインに基づく
授業づくり

◆基礎学力の定着と充実

～授業改善と家庭学習～

下の表が学力の状況で、学年や教科によって課題があります。基礎学力の定着を図り学力を向上させるためには、日々の授業の充実と家庭学習を定着させることが基本となります。そこで、①「ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり」の5つの基本構造、環境の工夫、情報伝達の工夫、活動内容の工夫、教材・教具の工夫、評価の工夫について研究を深め、だれもが「わかる、できる」授業づくりをめざしています。②「形成テスト」授業始めの5分間テスト・CTIを導入した「授業づくりのスタンダード」の取り組みにも重点を置いています。

平成26年度 標準学力調査結果

(全国を1とする)

	国語	数学	英語	理科	社会
1年	1.01	1.04		1.05	0.92
2年	0.97	0.99	1.01	1.00	0.86
3年			0.93	1.05	0.87

この形成テストは、単元や期末の各テストにも反映されるもので、日々の形成テストで7～8割をクリア(7～8割未満は補充学習)していくことで各テストの成果につなげ、努力した達成感を味わわせ、学習意欲を高めることを目標にしています。さらに、家庭学習の内容を形成テストと連動させ、内容の充実と成果につなげるようにしています。1学期末のアンケートでは、ほぼ全員の生徒が有実感を感じ、意欲的に取り組めたと答えています。形成テストへの取り組みをより一層充実させて、家庭学習の質と量の向上を図りながら、基礎学力の定着と学力の向上につなげていきたいと思えます。

◆仲間づくり

～生徒会活動や学校行事を通して～

本校では、授業だけでなく生徒会活動・部活動や学校行事を通して、仲間づくりをすすめています。その中でも本校の3大行事といえるのが、「佐中祭」「運動会」「人権集会」になります。



雨天の中、大盛況の佐中祭
(関連記事5ページ)

特に生徒主体で取り組む「佐中祭」は、今年で15年目を迎える本校独自の生徒一人ひとりが主役の行事です。今年度は「お・も・て・な・し・僕たちの頑張りが人々を救う」をテーマに掲げて6月に行いました。当日はあいにくの雨でしたが、生徒会執行部や3年生を中心に積極的の活動し、縦割り班の店舗活動やステーション発表に意欲的に取り組み、みんなの力で佐中祭を成功させることができました。生徒全員が心を込めて準備と練習を重ねて開催するこの佐中祭は、地域に愛され親しまれる

◆防災教育

今年度も地震・津波から命を守るための防災教育を積極的に推進し、自らの命を守るために「主体的に行動し、正しく判断できる力」を育てるために取り組んでいます。

防災教育の目標を「人間を大事にする」防災教育の推進とし、各学年のテーマを、1年「命を守るために 私たちにできることは」、2年「災害に備える 地域を見つめて」、3年「災害に強いまちづくり 佐賀」として防災学習を深めているところです。6月には地域と連携した避難訓練も初めて実施することができました。災害時には地域のつながりが減災につながるといわれていますので、今後も学校と家庭・地域が連携して、命と生活を自ら守るための防災教育の充実を、より一層図っていききたいと思います。



地域や保育所・小学校との
合同避難訓練

伊与喜小学校

『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』をめざして

校長 橋田 まや

◆はじめに

本校は、三方山や伊与木川などの自然に囲まれた6地区からなり、保護者や地域の方々はとても温かく、学校にもたいへん協力的です。

本年度は、児童数17人、完全複式の3学級編成でスタートしました。

児童は、明るく素直で学習にもまじめに取り組み、行事や作業もみんなで協力して行うことができます。

しかし、自分の考えを発表したり、学習や活動を主体的・意欲的に行ったりすることにやや弱さを感じられます。

◆学校教育目標

学校教育目標を『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』と設定し、具体的には、

- ①課題に主体的に向き合い、自分の考えや思いを表現する
 - ②仲間と共に学び合い高め合う
 - ③学んだことを生活に生かす
- として、仲間と共に学び合い高め合いながら、学校という集団の中でこそ学び

や、学ぶ喜びを大切にできる心豊かな児童の育成をめざしていきます。

◆校内研修の充実と指導力の向上

研究主題を『主体的に学び、共に高め合う児童をめざして』と設定し、年間7回の研究授業を含む30以上の校内研修を実施して、指導力の向上に努めています。

さらに、本年度は、佐賀中学校区の「特別支援教育を柱に据えた学校作り事業」の指定にかかわって、「ユニバーサルデザインの授業づくり」と「複式の授業づくり」を関連づけて、児童の意欲的・主体的な学びと学習リーダーの育成を目指した授業づくりを推進しています。

◆学力の向上に向けて

①主体的な学び合い

複式学級では、2つの学年が同じ教室で同時に学習を行うために、教師が片方の学年からもう片方の学年へ移動するという「わたり」を使って指導をしています。教師が直接子どもと関わる「直接指導」と、教師が片方の学年と関わっているときに自分たちで学び合う「間接指導」があります。1時間の学習の

流れが途切れないで、両学年で実現できる指導が重要となります。そこで、ポイントとなるのが、間接指導の時の子どもどうしの主体的な学び合いです。



話し合いや練習合い、まとめなど、学習リーダーを中心に意見を発表し合い、思考を深めていきます。リーダーは皆ができるように交代してやります。初めは手引きなどを見ながらしていましたが、だんだんと見なくてもできるようにになりました。このようにして、子どもどうしの主体的な学び合いを低学年から身につけていきます。

②言語力・表現力の育成

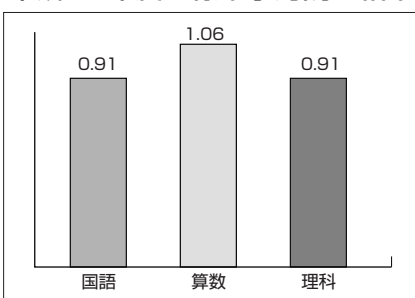
自分の考えを説明したり、学習リーダーとして司会をしたりすることへの手立てのひとつとして、「授業で使えるようにする言葉」や「話し合いの進め方」などを具体的に示して取り組んでいます。学びの土台となる言語を、日々の授業を中心に全校体制で指導し、すべての子どもに確実に

に定着させ、学力の向上にも繋げていきます。

③学力調査の結果から

左記のグラフは、4月に実施した標準学力調査の全国通過率です。このデータは、子どもたち一人ひとりの課題を把握し、授業改善と学力の向上につながる資料として活用していきます。

平成26年度 標準学力調査結果



※全国平均を1とした本校の通過率

結果の分析から、各教科に共通している課題に「文章を読み解く力」があげられます。こういった課題について、日々の学習と読書や音読とも関連させて、学校全体で取り組むことと、学級で取り組むことの両面から、具体的な取り組みを行っていきます。

◆豊かな心の育成

学校目標にも掲げているように、「心豊かな子ども」の育

成をめざして、人権教育・道徳教育を核に心の教育を推進しています。日々の教科学習はもちろん、学校行事や体験学習などを通して学びを深め、行動化にもつなげていきます。

◆体力向上の取り組み

日々の体育授業の工夫と充実とともに、1年間を通しての朝マラソンや一輪車、水泳や駅伝の特別練習など、全校で取り組んでいます。こうして、体力・運動能力の向上を図るとともに、心も体も豊かな子どもの育成をめざします。



◆仲間づくり

毎日の集団登下校や清掃活動など、さまざまな活動において5・6年生が声をかけ、お手本を示し、下級生は見て聞いて覚えます。各学級の人数は少ないですが、全校で一緒に活動しながら、集団の仲間意識や人を大事にすることなども学んでいます。